

6 止血法

一般に体内の血液の20%が急速に失われると出血性ショックという重篤な状態となり、30%を失えば生命に危険を及ぼすと言われています。したがって、出血量が多いほど、止血手当を迅速に行う必要があります。

○ 直接圧迫止血法

- ・出血部位を確認し、清潔なガーゼ、ハンカチ、タオルなどを当てて、その上から直接圧迫する。
- ・出血がおさまらない原因としては、圧迫位置がずれていたり、圧迫する力が弱い場合が多いため、救急隊が到着するまで出血部位をしっかり押さえつづける。
- ・感染防止のため、血液に直接触れないよう、ビニール手袋を着用するか、ビニール袋を手袋の代わりに使用する。



【119番通報の例】※通信指令員の質問に、落ち着いて答えてください。

- ・火事ですか？救急ですか？ → 救急です。
 ・救急車が向かう場所はどこですか？ → 東近江市〇〇町〇〇番地の〇〇です。
 ・どうしましたか？ → 父が倒れて、意識がありません。
 (誰がどうしたのかを伝えてください)
 ・あなたの名前と連絡先を教えてください。 → 東近江太郎です。電話番号は〇〇です。

※通信指令員は、応急手当についての指導も行います。



【AEDの設置場所】



※以下のサイトからAEDの設置場所が検索可能です。



日本救急医療財団全国AEDマップ



日本全国AEDマップ

※AEDは人の目につきやすい場所に置かれています。

【医療機関の案内】

○医療ネット滋賀 (パソコン・スマートフォンで検索可能)
 夜間や休日に医療機関を探す場合にご利用下さい
 TEL 0748-23-3799



小児救急電話相談 (＃8000または077-524-7856)
 平日・土曜日(午後6時～翌朝8時)
 日曜日・祝日・年末年始(午前9時～翌朝8時)

医療ネット滋賀

【東近江行政組合消防本部公式SNS】

市民の皆様への情報発信ツールとして、
【Facebook】、【Instagram】
【Twitter】、【YouTube】
 を開設しています。
 ぜひ一度ご確認ください。



口頭指導に関するYouTube動画

東近江行政組合消防本部

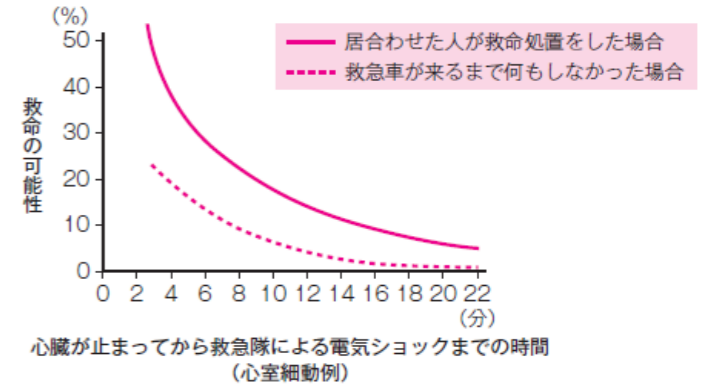


URL <https://www.eastomi.or.jp/>

※本資料の図及び文章の一部は救急蘇生法の指針2020(市民用)より引用しています。

1 応急手当の重要性

心臓と呼吸が止まった人の命が助かる可能性は、その後10分の間に急激に低下します。このようなとき、まず必要なことは「すぐに119番通報する」ことです。しかし、それだけでは十分ではありません。救急車が現場に到着するまでには、全国平均で8分以上かかります。救急隊を待つ間に居合わせた市民が救命処置を行うと、命の助かる可能性が高くなることがわかっています。



2 救命の連鎖

急変した方を救命し、社会復帰に導くために必要となる一連の行動と処置を「救命の連鎖」といい、構成する4つの輪がすばやくつながることで救命効果が高まります。「救命の連鎖」における最初の3つの輪は、現場に居合わせた市民によって行われることが期待されます。電気ショックは、現場に居合わせた市民がAEDで行うほうが、119番通報で駆け付けた救急隊が行うよりも生存率や社会復帰率が高いことがわかっています。



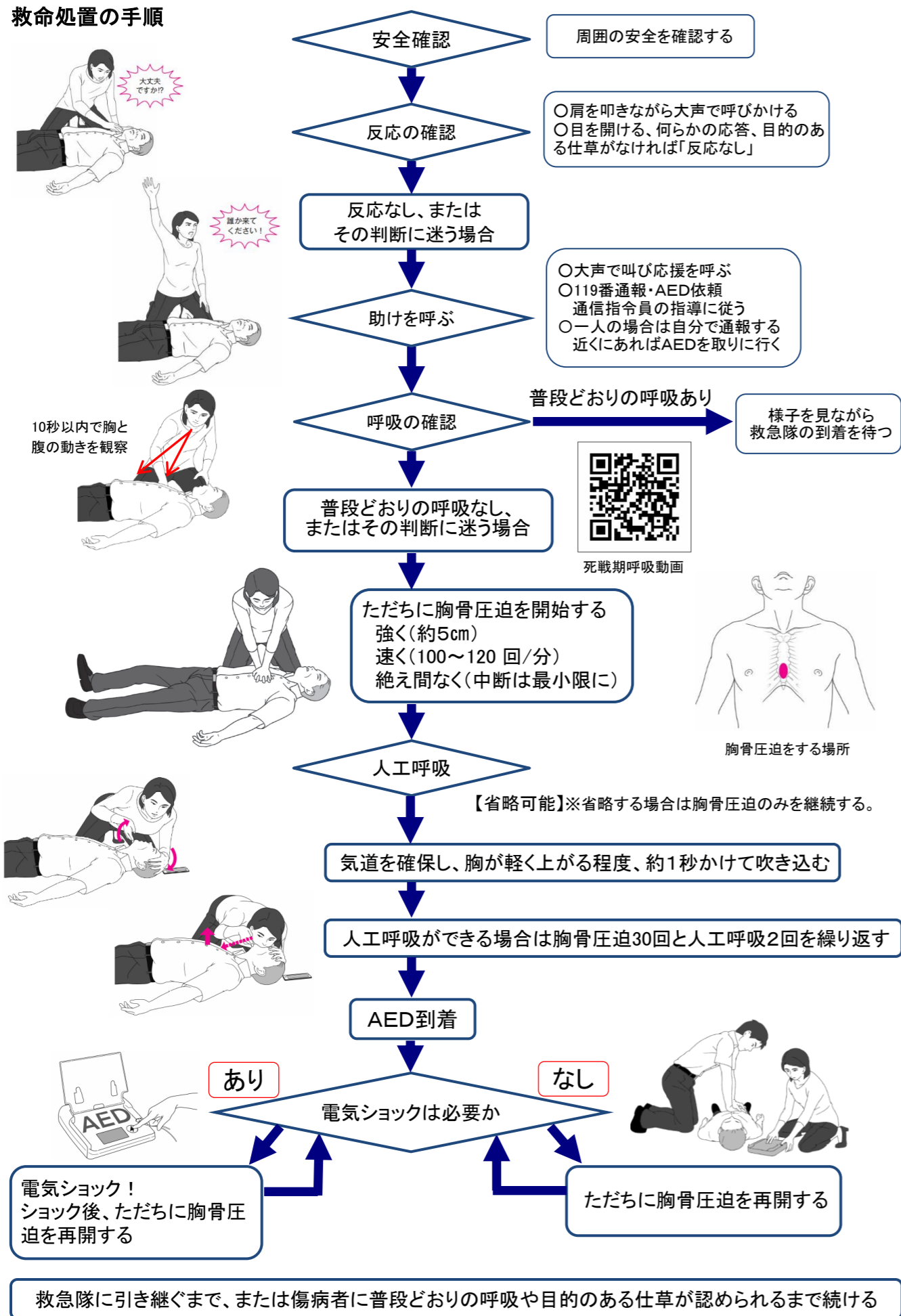
3 心停止の予防

「救命の連鎖」の1つめの輪～心停止の予防～として、子どものけが、溺水、窒息といった不慮の事故を未然に防止することが重要です。成人の突然死の予防では、生活習慣病のリスクを低下させることも重要ですが、急性心筋梗塞や脳卒中の初期症状に気づいて、早期に救急車を要請することが大切です。また、わが国では高齢者の窒息、入浴時の事故、熱中症なども心停止の原因として多く、これらを予防することも重要です。

※救命処置の年齢別比較 (成人も小児・乳児も救命処置の手順については同じです)

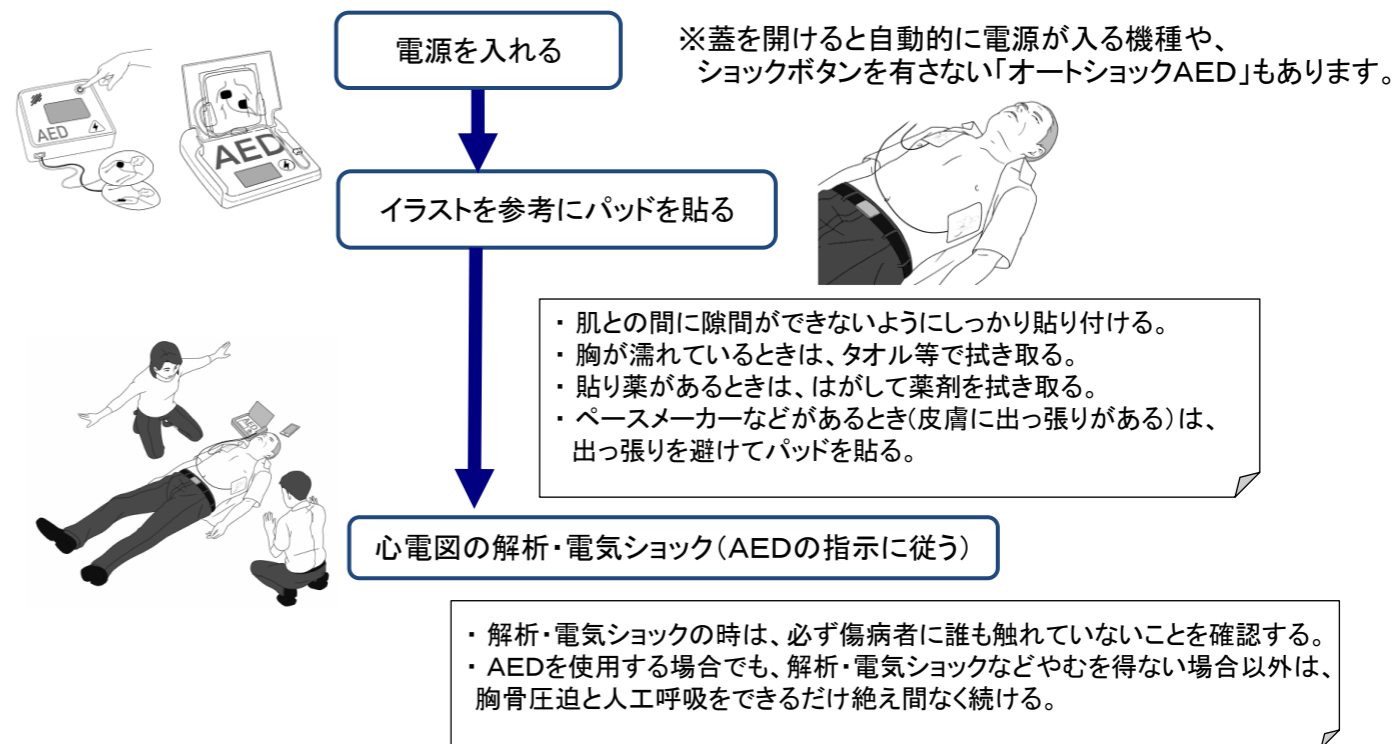
		成人	小児	乳児(1才未満)
胸骨圧迫	圧迫の位置	胸骨の下半分の位置 (目安は胸の真ん中)		左右の乳頭を結ぶ線の 少し足側
	圧迫の方法	両手で	両手または、片手で	
	圧迫の深さ	約5cm沈み込むように	胸の厚さの約1/3まで	
	圧迫のテンポ	100～120回/分		
人工呼吸	気道確保	頭部後屈あご先挙上法		
	吹き込み方法	口対口	口対口鼻	
	吹き込み量	胸の上がりを確認できる程度(約1秒かけて2回吹き込む)		
胸骨圧迫と人工呼吸の比		30:2		

4 救命処置の手順



○AEDの操作手順

※ 心肺蘇生を行っている途中で、AEDが届いたらすぐに使う準備をします。
※ 電源を入れたら、以降は音声メッセージに従って操作します。



○未就学児用AEDパッドについて

- ・小学校に上がる前の子ども(乳児や幼児)には未就学児用パッドや未就学児用モードを使用する。
- ・未就学児用パッドや未就学児用モードの切り替えがなければ、「小学生~大人用パッド」を使用する。

5 気道異物の除去

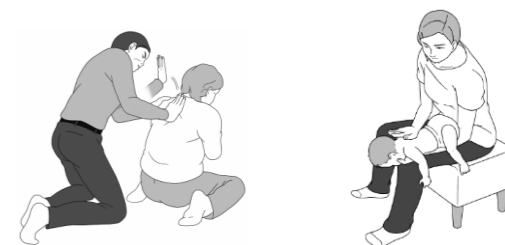
異物(食物など)が口の中や喉などに詰まった場合の対応方法

○反応(意識)がある場合

119番通報とともに以下の方法で異物除去を試みる。なお、咳ができる間は完全に詰まっていないため、強い咳により自力で排出できることもあります。

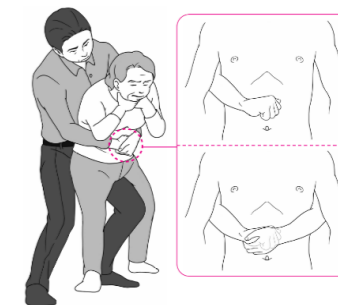
(1) 背部叩打法

- ・手のひらの付け根で左右の肩甲骨の間あたりを数回以上力強く叩く。
- ・乳児の場合は、片方の手で乳児のあごをしっかり持ち、頭を下げるよううつ伏せにして、もう一方の手のひらの付け根で背部を数回以上力強く叩く。



(2) 腹部突き上げ法

- ・背部叩打で異物が除去できなかった場合に試みる。
- ・救助者は傷病者の後ろにまわり、ウエスト付近に手を回す。
- ・一方の手で握りこぶしをつくり、親指側を傷病者のへそより少し上に当てる。
- ・その握りこぶしをもう一方の手で握って、すばやく手前上方に向かって圧迫するように突き上げる。
- ※注意点・・・妊婦、高度な肥満者、乳児には行わない。



○反応(意識)がない場合

傷病者がぐったりして反応がなくなった場合は、ただちに心停止に対する心肺蘇生の手順を開始する。